

日本共産党

3議席の力で切実な願いを実現しました

道理と論戦で市政を動かす



子どもの医療費助成を小6まで拡大

子どもの医療費助成などを拡大するよう、一般質問でとりあげ、
09年1月から、子ども（18歳まで）のいる世帯には、国保税の滞納世帯でも、短期の
保険証を交付することになりました。
09年4月から、医療費助成を、小3までから、小6までに拡大することになりました。
妊産婦検診の受診助成券を10回から14回にすることになりました。

一人暮らし高齢者・障害者の安否確認

2週間に1回を週1回に増やす

一般質問でとりあげ、08年4月から、週1回に増やすことになりました。



古新聞を無料収集に

一般質問でとりあげ、05年12月
から、ゴミステーション単位での、
無料収集になりました。

日本共産党議員団提出の 意見書案が可決

○乳幼児医療費助成に国の補助を
求める意見書
○保育制度の充実と子育て予算の
増額を国に求める意見書
○食料自給率の向上と安心して農
業のできる農政への転換を国に
求める意見書

全校の耐震診断を実施

庄原中、庄原小の建替えが間近に

繰り返し質問し、庄原中（2010年度から）、庄原小、
東城小の、建替えの方向と、その他の学校の耐震補強
工事（07年度から09年度）が決まりました。



ふじき くにあき (57歳)

ホームページは

藤木くにあき

検索

TEL 74-1190 携帯 090-5704-0645

●現在/市議会議員 3期目(教育民生常任委員)

●自宅/庄原市水越町598

生活相談180件 その8割を解決

生活保護、就学援助、訪問販売の契約解除、サラ
金問題など、なんでも気軽にご相談ください。

庄原民報

2009年2月

日本共産党庄原市委員会

庄原市西本町一丁目4-10

TEL・FAX 72-3366

日本共産党庄原市委員会の活動、政策を紹介します。ご意見をお寄せください。

市政アンケートに寄せられたみなさんの声にこたえ

市民のくらし、福祉、教育を優先させます

日本共産党の10大政策

- 若者の働く場の確保
- 市内での出産医療の再開
- 第2子、第3子の保育料を無条件で軽減
- 中学3年生までの医療費の無料化
- 耐震診断に基づく庄原中学校、庄原小学校の建替
- 高齢者医療の充実、後期高齢者医療制度の廃止、国保税の引き下げ
- 老人ホームの増設
- 資源ゴミ、紙おむつの無料収集
- 住宅、店舗のリフォーム助成制度の創設
- 米の価格保障制度の復活、イノシシ駆除の徹底

財源は、不要、不急の大型建設事業や経費の節減、国保会計の基金の活用で、生みだします

1世帯 平均1万円の国保税の引き下げ

ためこんだ国保会計の基金約6億6千万円（08年度末見込）のうち、約6千万円（国保加入者 約6千世帯）を充てれば実現できます。

被害が深刻で、農家の生産意欲をそいでいます。
「箱わな」を市内に満ちるなく設置し、駆除を徹底し、
頭数の減少をはかります。



イノシシ駆除の徹底を

この制度は、市民が、自宅や店舗を改修するとき、市内の業者に
工事を発注することを条件に、工事費の一部を（10万円を上限と
して）市が助成するというものです。
三次市が実施して大好評です。市内の業者の仕事が増え、市民も
助かる制度の実現を庄原市でもめざします。

三次市が実施して大好評 住宅リフォーム 助成制度を庄原市でも



若者の2人に1人が、低賃金の非正規雇用。こんな社会に未来はありません。
庄原市の人口を増やすためにも、国民運動と、力をあわせ、国政も変革して、
安定した仕事を保障させるため、全力をつくします。

若者の働く場の確保

出産医療の再開にがんばります

庄原日赤での出産がストップして丸4年になります。

「1日も早く再開してほしい」これがみなさんの率直な声です。

医療行政に責任をもつ国や県に、責任をもって、産婦人科医師
を派遣させるため、みなさんと力をあわせ、全力をつくします。

日本共産党